

2024年3月期 決算説明会 Q&A (2024年4月30日開催)

Q1. 2024年度通期の受注計画について、中国は前年比で若干減少する予想だが、中国市場の状況をどう見ているのか？

A1. 旧正月明けから大口の商談が少しずつ動き出しており、中国市場全体の減速感は薄れていくと見ています。部品加工向けはハイブリット車を含む新エネルギー車向けを中心に受注は堅調に推移していますが、金型向け受注は中小のお客様向けの受注の回復が遅れています。

Q2. アメリカ・ヨーロッパにおいては、2023年第3四半期から第4四半期にかけて受注が回復したが、この増加傾向が2024年度上期も継続するのか？

A2. 全体的には回復傾向にはありますが、各国での景気減速懸念・アメリカでの金利高止まり・各産業固有のリスクなど、依然として先行き不透明感が残るなか、計画は慎重に見ています。

Q3. 2022年度に対し、2023年度は売上総利益率が改善しているが、その背景は何か？

A3. 円安に加えて、売上高に占める大型機や5軸機の比率の増加、販売価格の改定、VA (Value Analysis) /VE (Value Engineering) によるコストダウンなどの地道な活動が利益率の改善につながっています。

Q4. 大型機の売上比率の増加に伴い、部品在庫も増加すると考えられるが、在庫回転率をどのように改善していくのか？

A4. サプライヤとの連携強化により調達部品のリードタイムを縮めることや、複数の部品を組み合わせることでユニット化し、組立作業を効率化することにより、生産工程全体で工夫しながら在庫を抑えていくことがメーカーの使命と考えています。大型機においても、この取り組みを進めています。

本資料に記載いたしました将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績は、さまざまな要因により、記載された見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化等があります。なお業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。